

「秋高し」

県立神戸高等学校長
新谷 浩一

○ 秋季定期戦を終えて

先月末に開催された兵庫高校との秋季定期戦。その壮行会で私はこのようなことを伝えました。
『春季定期戦では各部よく頑張ってくれました。あと少して総合優勝でしたが1勝の差でした。この1勝の差、春季定期戦に出場した選手はとても悔しい思いをしたと思います。その悔しさを晴らす機会を、今回、皆さんに託します。精いっぱい競技と精いっぱいの応援、そして神戸高校の優勝を期待しています』

加えて紹介をふたつしました。ちょうど留学で来ていたイギリスのロチェスター・グラマー・スクールとホルコム・グラマー・スクールの生徒がともに応援してくれることがひとつ。また、県高校駅伝神戸地区予選を勝ち抜き、陸上競技部の男女がともに11月3日の県大会に出場することを決めたことがもうひとつです。

かくして定期戦は始まりました。今回は兵庫高校に会場をお借りするというかたちの開催でしたので、私は兵庫高校の井上校長先生とともに各競技を見て回るようになりましたが、どの試合においても熱戦が繰り上げられ、ふたりで興奮していました。神戸高校恒例のタオルを振り回す応援も場を盛り上げていましたね。



それにしても、兵庫高校は元気でした。陸上競技で勝ち、剣道と硬式テニスは1勝1敗だったものの、卓球で2敗、バスケットボールで1敗したため、この時点で残念ながら勝敗は決してしまいました。



ここで昼休憩を挟んでの応援合戦。頼りがいのある3年生が抜け、これまた新チームとなった応援団でしたが、見事に士気を高め続けてくれました。留学生諸君も大いに声を出してくれて嬉しかったですし、何より何度も周囲を巻き込み、大声援を送り続けてくれた3年生をはじめとする生徒諸君に大感謝ですね。



また、定期戦のラストを飾るラグビーの一戦がどこまでも高い秋空の下、一進一退を繰り返す接戦となったのも良かったですね。去年は神戸高校の完勝に終わったと聞いていましたが、今年は兵庫高校の部員の集中力が凄まじく、また足らずのメンバーを補ってくれた夢野台高校のラグビー部員も熱いプレイを見せてくれ、急造チームとは思えないコンビネーションを見せてくれました。もちろん、本校に負傷者が多く、ベストメンバーで臨めない事情もありましたが、結果として一進一退の大熱戦になりました。



最終的に本校が競り勝ったものの、試合後に整列した選手全員に対して、スタンドを埋めたOB、保護者、そして両校の生徒からは拍手喝采でした。

また、試合後は兵庫、神戸両校ラグビー部のOB会が主催するアフターマッチファンクションがあり、3校のラグビー部員が一堂に会して交流を深めるラグビー部ならではの時間となりました。私も会に参加させていただきましたが、両校の先輩方が後輩たちを思いやる気持ちに胸が熱くなりましたね。

結果として春と秋つづけて敗れはしましたが、爽やかな気持ちで終わったのは、兄弟校としてともに全力を尽くし切ったからですかね。春、秋ともに実にいい定期戦であったと思います。

最後になりましたが、この定期戦の成功裡に両校生徒の頑張りに加え、夢野台高校ラグビー部の皆さん、競技審判員の皆さんのご協力と、OB、保護者の方々の強い思いがありました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

